

令和8年勝浦町マラソン議会（1月会議）会議録第1日目

1 招集年月日 令和8年1月29日

1 招集場所 勝浦町役場議場

1 開閉日時及び宣告

開議 1月29日 午前9時29分 議長 松田貴志

散会 1月29日 午前9時52分 議長 松田貴志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	内谷安宏	2番	福井裕美
3番	長尾隆資	4番	玉置守
5番	花房勝一	6番	瀬戸直一
7番	美馬友子	8番	松田貴志
9番	籾公一	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

4番 玉置守 9番 籾公一

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	海川好史
教育長	大久保康雄	政策監	野上佳孝
総務防災課長	中瀬弘晴	建設課長	上村和也

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第1号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議会運営員会所管事務調査報告

日程第4 町民の声に対する質問

日程第5 議員派遣について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第5まで(第1号)

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時29分 開議

○議長（松田貴志君） ただいまから令和8年勝浦町マラソン議会1月会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第1，諸般の報告を議題とします。

各種会議等への出席状況は、お手元に配付の報告書のとおりです。

また、監査委員から、例月出納検査結果について報告書がお手元へ配付のとおり提出されていますので、ご報告しておきます。

次に、法第121条第1項の規定により、説明者として出席を求めたのは、野上町長のほか、お手元に配付の出席要求書のとおりです。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第2，会議録署名議員の指名を議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第128条の規定により、議長において指名いたします。

1月会議における会議録署名議員は、4番玉置議員，9番節議員の両名を指名いたします。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第3，議会運営委員会所管事務調査報告を議題とします。

議会運営委員会調査結果の報告を求めます。

井出議会運営委員長。

○議会運営委員長（井出美智子君） 議会運営委員会から報告いたします。

1月22日に議会運営委員会を開催し、1月会議の日程等について協議を行った結果、本日1日の開催といたしましたので、ご協力をお願いいたします。

以上です。

○議長（松田貴志君） ただいまの議会運営委員長の報告に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、議会運営委員会所管事務調査報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第4、町民の声に対する質問を行います。

2番福井裕美議員の質問を許可します。

福井議員。

○2番（福井裕美君） 議長のお許しをいただき、町民の声の質問を行います。

本日は、年度内のこの時期だからこそお伺いしたい点について、大きく2点質問をさせていただきます。

1点目は来年度体制を見据えた人事と職場環境について、2点目は来年度の予算編成、とりわけ大型事業がほかの事業に与える影響についてです。いずれも町民サービスの質、そして行政運営の持続性に深く関わる重要な点であると考えております。

まず、人事と職場環境についてお伺いいたします。

人事については、議員の立場から非常に慎重であるべき分野であることは十分承知しております。その上で、組織の健全性と人材育成という観点からあえて質問をさせていただきます。

現場の声を伺う中で、課によっては退職者が続いている、また職場の風通しに課題を感じている、そうした声を耳にすることがあります。もちろん、退職の理由は個々に異なり、一概に一つの原因に結びつけることはできないと考えております。

ただ、一般論として申し上げますと、管理職が長期間同じ人材にあることで、新たな視点が入りにくくなったり、意見が上がりにくくなるなど、職場の雰囲気や固定化してしまう場合もあるのではないのでしょうか。管理職の異動は、決して誰かを否定するものではなく、組織に新しい風を入れ、職員一人一人が安心して意見を出せる環境をつくるための前向きな人事の一つの手法であると考えています。歴代の町長の中で最も多くの退職者を出したとお話しされておりましたが、繰り返しになりますが、職員の退職理由は個々に異なるものであり、一概に一つの要因で語ることはできないと承知しております。

ただ一方で、業務量や業務内容に加え、職場の雰囲気や職員の声といった点が働きやすさや職員の定着に影響する場合もあると考えます。管理職の配置を検討するに当たり、こうした職場環境や職員の声について、どのような方法で把握し人事判断に反

映されているのか、可能な範囲でお伺いいたします。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） まず、先日行われました町長選挙におきまして、議員の皆様からご支援いただきましたことにお礼を申し上げます。

課題は山積いたしております。いろいろな人口減少であるとか、様々な防災対策が急がれる時期でございます。町の発展のため、また住民の安心・安全な暮らしのため、不退転の覚悟で臨むつもりでございますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いできたらというふうに思います。

また、昨日は、国に向けて内閣府、また国土交通省といったところに要望するに当たり、議長、また副議長のご同行を願い、大変有意義な要望活動であったかと思っております。その点もありがとうございました。

さて、今、議員からおっしゃられた質問ですが、質問の通告書どおりで何点かに分けて回答させていただくというところで、今のに回答すると最後まで行ってしまいそうなので、何点かに分けて答弁させていただきます。

議員おっしゃるように、勝浦町の現状では、非常に長い管理職にお願いして任せているところがございます。そういったことで、管理職を一定期間同一部署に配置することとなりますと、業務に精通したり継続性のある施策推進が可能になっていく、安定した行政運営ができるというようなところもございますが、議員が先ほどおっしゃったように、いろいろな面で風通し、また新しいアイデアとかそういったものが出にくくなる。ただ、職員と町民、各種関係団体との信頼関係といったようなところで、あまり連携する業務が少なくなっているということから、そのあたりの心配もあり、地域住民とか関係機関と信頼関係を構築していくというようなことでちょっと長くなっているかなというふうに思っております。

また、配置が長期化することによって、業務の固定化や発想の硬直化、それから職員のそれぞれの人材育成といったようなキャリアの形成の面から、もう少し広く業務を知るということも非常に大事なかというふうに思っております。

今年度末、退職者等もございますし、その点におきましては、人事異動をせざるを得ないというふうな状況でございます。そういったことも含めて考慮していく必要があるとは考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） お答えいただきました。

メリットとデメリットということで、メリット、長期で同じ方が在籍することで地域の方との連携が取れて、業務に精通して安定したことがというお考えでということできているということですね。

では次に、職場環境の把握についてなんですけれども、管理職の配置を検討するに当たり、職場環境や職員の声については、どのような方法で把握して人事の判断に反映されているのか、可能な範囲でお伺いします。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 通年行っていることなんです、毎年年末にかけて、全ての職員から、勝浦病院は、医療職はまた別だろうと思うんですが、自己申告書といったところで、自分の職場のことについて、いろいろ自分の希望と、また日頃職場で思っていることを記載して、私どものところに届いております。そういったことを把握しながら、人事異動というようなものも考えていくということにしております。

それから、毎年ではないんですが、私も全ての職員と面談する機会を取りまして、やってきたというような経過はございます。できたら毎年行ったらいいんだろうと思うんですが、いろんなことで忙しいというのを言い訳にはいかんのですが、そういった面でできていない年もありますが、なるべく今後そういった面で、職員の考えていること、また感じていること、そして希望する職場とかそういったものについての聞き取りはしていきたいなというふうに思っております。

私がもう少し積極的に職員とのコミュニケーションを取ったほうがいいとは思いますが、職員からはなかなか言い出しにくいんだろうと思うので、今後心がけたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。ちょうど半分の時間が過ぎましたので、効率的にお願いします。

○2番（福井裕美君） 分かりました。では、続けてまいります。

来年度の体制を検討するに当たりまして、町長の思い、こういうことされよると分

かったんですけれども、課長職を含む管理職の配置について、必要に応じて見直しを行うという判断も選択肢として持ってらっしゃいますか、お伺いいたします。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 今回管理職の退職者もおります。それから、ある程度時期というかポイントがあって、町長選挙が今年あって、私も改選になったということでございます。前回の2期目の改選のときが、実はコロナ禍の真っただ中、また物価高騰等も言われておりました、そういったことを住民の皆様にご事業を提供していこうと思ったら、ちょっと変えづらい時期はあったと思います。

それから、今回町長選挙ということで、これはいい機会というふうに思っておりますので、私が考える人事をほかのものにあまりとらわれることなく考えられるのではないかとこのように思っておりますので、少しフレッシュな人事というものを考えたいというふうに思っておりますので、また皆様のご意見もいただけたらと思います。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） ご答弁ありがとうございます。

フレッシュな人事ということで、楽しみにいたしております。

それでは、2つ目に参ります。来年度予算編成についてです。

これを思ったのは、申し上げます。12月議会で、ほかの事業にも影響が出る可能性があるとの答弁が示されたことによりまして、住民の方からは、これまで行われていた事業はどうなるのかとか、身近なサービスが削られるのではないかとこの不安の声も聞こえてまいりました。私も思うんですけど、個人的な疑問として、今年度が各課が100としたら、来年度以降は70になるのかなっていう、そういうことも考えてしまうわけなんですよね。それで、今回質問入れさせていただいたんです。このタイミングで、年度末近いこの時期で入れさせていただきました。

具体的な金額とかは確定してない段階であるってことは承知しております。その上で、来年度から始まる大型事業を踏まえた場合、既存事業とのバランスをどのような考え方で整理していくのか、予算編成に臨む際の基本的な考え方についてお伺いいたします。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 改めまして、おはようございます。

来年度の予算編成についてでございますが、現在令和8年度の当初予算につきましては、各課からの要求に基づいて査定を進めているところでございます。こちらのほう、町の財政状況を総合的に勘案しながら、福祉、教育、子育て支援など、住民生活に直結する施策が損なわれることのないよう取り組んでいるところでございます。

大型事業が始まるということでございますが、そういった予算につきましては、財源を確保しながら実施するというふうには考えております。住民生活には影響がほぼないというふうな予算になるというふうには考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） 分かりました。

すいません、建設課の課長にもお伺いしたいんですけども、大型事業とそれ以外の事業とのバランスはどのような点にというか、建設課の場合、どんな感じで配慮されているのか、お伺いいたします。

○議長（松田貴志君） 上村建設課長。

○建設課長（上村和也君） 建設課では、星谷橋の架け替え事業が大きな事業になります。現在、予算の見積り要求査定を行っている状況でございます。詳細の額につきましては、当初予算の提案を3月議会に上程し、ご決議をお願いするようになります。7年度の当初予算の継続費の計上で、令和7年から12年までの6年間で33億4,562万7,000円のご決議をいただいております。その中で、8年度額については7億1,906万1,000円となっておりますので、この額以内での当初予算の計上を考えております。

建設課のほかの事業についてですが、町民生活に影響は出ないです。例年どおり執行していく予定となっております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） 分かりました。

すいません、もう一度総務防災課長にお伺いいたします。

例えば、教育委員会と福祉課と、一番聞きたかったのはこれなんですけれども、住

民課，各課で予算があるんですけども，令和7年度を100としたら来年度以降は100が70になるとか60になるとか全体的に縮小するとか，ほかの課にもそういうのはあるのでしょうか。すいません，具体的な数字出てないの分かってるんですけども，そのあたりをお伺いします。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 先ほども少し申し上げましたが，住民生活には影響のないというところで考えております。

それから，議員おっしゃるように，100としたら70になるのではないかというようなご質問ですが，基本的に予算の積算といたしましては，各課の積み上げというふうには考えております。今までの事業の100が70になると，予算の奪い合いをしているわけではございませんので，基本的に財源を確保して積み上げていくような格好になります。したがって，従来の事業についてはほぼ影響がないというふうには考えております。それから，事業ですので，当然不必要な予算については査定をさせていただいて厳正に積算をしていただくというふうには考えております。

福祉，教育の予算については，ほぼ例年と変わらないというふうなところで考えております。具体的な数字につきましては，当初予算の説明，各課での説明をお聞きいただければというふうには考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） 長寿命化とか，12月議会でちょっと遅れが出るかもってのを幾つかの何人かの課長が言われよったんですけど，それについてお願いします。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 私の記憶が正しければ，各課事業が遅れるというようなところではなかったかと思えます。先ほど申し上げたように，事業については一般財源，特定財源，財源の確保が重要であろうというところがございます。したがって，財源の確保が難しいというところであれば，事業の実施の選択をして優先順位をつけて事業を実施していくというふうな回答であったかと思えます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 福井議員。まとめてください。

○2番（福井裕美君） 終わります。ありがとうございました。

では、まとめます。職員の皆さんが安心して力を発揮できる体制を整えていただき、また来年度もよりよい住民サービスの向上に努めていただけたらとご配慮いただくことを期待して、町民の声、質問を終わりたいと思います。

○議長（松田貴志君） 以上で2番福井裕美議員の質問は終了しました。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第5，議員派遣についてを議題とします。

お諮りいたします。

議員派遣については、お手元に配付のとおり派遣することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり派遣することに決定しました。

以上で1月会議の日程は全て終了いたしました。

これにて散会いたします。

午前9時52分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員